

2024年4月24日  
株式会社三菱UFJ銀行

本邦系統用蓄電池事業に対する  
当行初のプロジェクトファイナンス組成について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下「当行」）は、広原蓄電合同会社（業務執行社員 日本蓄電株式会社）との間で、金銭消費貸借契約（以下、「本契約」）を2024年3月28日に締結いたしました。

本事業は、宮崎県宮崎市大字広原における30MW規模の系統用蓄電池事業を対象としたプロジェクトファイナンス案件となります。本系統用蓄電池事業では、広原蓄電合同会社が施設の開発、所有及び維持管理を行い、オフテイク契約（※1）を通じて東京ガス株式会社が本施設の利用・運用を担います。主に本邦電力系統における需給調整機能として、太陽光や風力等の再生可能エネルギーをはじめとする電源の出力変動の平準化、並びに電力の安定供給に寄与するものです。当行は、これまで再生可能エネルギー発電事業や、PFI事業におけるプロジェクトファイナンスの取組を通じて培ったノウハウを生かし、本邦において黎明期に位置する系統用蓄電池事業に対するファイナンススキームを構築し、本契約の締結に至りました。

本契約の概要

契約締結日	2024年3月28日
アレンジャー/貸出人	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	約85億円
資金使途	系統用蓄電池事業の開発

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。2021年5月17日に公表の通り、2050年までに投融资ポートフォリオの温室効果ガス排出量のネットゼロ、および2030年までに当社自らの温室効果ガス排出量のネットゼロの達成をコミットする「MUFGカーボンニュートラル宣言」を発表しました。その実現に向けて、2030年度までのサステナブルファイナンス目標額100兆円を掲げ、今後もお客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

（※1）オフテイク契約：事業者による施設の開発・所有・維持管理を前提に、オフテイクが本施設の利用権を取得し利用・運用を担うための契約。

日本蓄電株式会社 本件プレスリリース：[https://www.ekuenergy.com/ja/news/hirohara\\_240424](https://www.ekuenergy.com/ja/news/hirohara_240424)  
東京ガス株式会社 本件プレスリリース：<https://www.tokyo-gas.co.jp/news/press/20240424-01.html>

以上